

## 科学教育ボランティア養成講座とは

子どもの理科離れが指摘されて久しい。対応を全て学校教育にゆだねることはできず、社会全体で取り組む必要がある。このため科学館や公民館、青少年育成団体などいろいろな立場で取り組みがなされているところである。これら団体における活動においては、一部の人間による活動にとどまるのではなく、広く一般市民がかかわることのできる活動である必要がある。

しかも、効率よく実効性をともなう活動となるためには、科学教育について皆が一定の共通認識をもちネットワークの形成がなされていることが重要であると考え。とくに広島市においては科学技術政策大綱が定められ、それに基づき広島市科学技術市民カウンセラーも活動をはじめたところである。時代のニーズや政策としての取り組みの方向性を理解しておくことは大切である。

このため、ボランティア活動を新規に開始する年齢層である高校生・大学生・大学院生をおもな対象として『科学教育ボランティア』に必要な基本認識を得ること、および活動についてのネットワーク形成を目的として今回の養成講座を企画したものである。

教育ボランティア、とくに『科学教育ボランティア活動』という分野があることは知られているとはいえず、仮に知っていても「自分にはできない」と敬遠されている分野である。教育系の学部ではない、とか、理科系の人間ではない、とか、自分に専門知識がない等の理由で科学教育分野を敬遠しているものである。しかし実際には文化系の学生であっても、教育系の学部でなくても『科学教育ボランティア』として活動できることは当然である。しかしこのあたりが理解されているとはいえず。

例えば、科学だけではなく音楽や芸術などの得意分野も当然重要であると言われる。科学・教育専門でなければ務まらないという誤解を解き、『科学教育ボランティア』として参加するしきいを低くしていくことが必要であると考え。

今回は、第一線で活躍されている講師をお招きして講座を開催する。参加費は無料である。

たとえば科学講演会、天体観望会、科学工作教室などのお手伝いに興味のある方ははじめの一歩となることを願っている。

2006年5月29日

科学教育サポートネット広島 会長 高橋裕子

<http://www.sesn-j.org/>

[sesn-hiroshima@sesn-j.org](mailto:sesn-hiroshima@sesn-j.org)